

プラスチックごみによる汚染問題と海なし県の私達が出来ること。



長野県上田染谷丘高校

1年6組 中沢琴梨

この課題に関
わるSDGsの
番号

14,海の豊かさを守ろう



テーマ設定の理由

- ・地理の授業で海へ流れたプラスチックごみを食べた海鳥を見て衝撃を受けたから。
- ・海へ行ったときにプラスチックごみが多く驚いたから。
- ・海がない県でも川などから海へゴミが流れ出してしまおうということを知ったから。

現状

海洋ごみ 種類別の割合（個数）

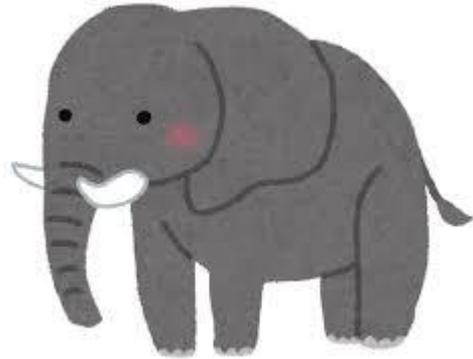


・世界では年間約800tのごみが海へ流れ出している。

・海洋ごみの60%以上はプラスチックごみである。

800tってれくら
い?

一頭約4tのアジア
ゾウ200頭
分!!!!



× 200

||



800万t/年

海洋ごみによる海洋汚染問題は深刻である

- ・海では海洋ごみによって亡くなる動物が多発している。
- ・2025年の海は魚よりごみの方が多くなる。

海なし県の私達には関係ない？

実は、海のごみの七割は、川から来ている。

陸地に捨てられたごみが雨や風によって川へ運ばれ、川から海へ流れ出ているのが現状。

実際に川からもマイクロプラスチックが発見されているとか。



私達には何が出来るの？

私達にできることはたくさんあると思う。例えば...

- ・使うプラスチックを減らす(マイバッグ持参、プラスチック製品を買うのを控える、など)



ゴミを道路などに捨てない、ゴミが

など...



10代からの 提言



もっと私達は海洋汚染問題について、「他人事ではなく自分のことだ」と受け止める必要があると思う。

そして、小さなことでも自分にできることをするべきだと思う。

感想

海洋汚染によって悲惨な姿になった動物たちの姿はとても衝撃的だった。人間の手によって海に住んでいる動物や魚が苦しむ事はあってはいけないと思う。もうこれ以上海洋汚染を進行させてはいけないし、私達は海を元のきれいな姿に戻さなければいけないと思った。

そのためにまずは自分にできることを身近なことから小さいことでも、少しずつでもやっていこうと思った。